

地域おこし協力隊通信

～新しい地域おこし
協力隊員のご紹介～



SNS(Instagram)で
日々の活動状況を
発信中!!

CHIBUKOKOSHI_373STM



ほりうち げんき
堀内 元気 さん (39)

【自己紹介】

4月1日より、地域おこし協力隊に就任しました、堀内元気です。
妻と子供3人の5人家族で南さつま市に移住してきました。

私はこれまで16年間、東京のコミュニティFMラジオ局で、ディレクターとしてラジオ番組の企画・制作・DJを担当し、地域の暮らしや観光など、様々な情報を「声」で発信してきましたが、つい見落としてしまうような地域の魅力を「観光」に落とし込めないか模索していました。そんな折に南さつま市で地域おこし協力隊員を募集していることを知り、「これだ!」と直感し応募しました。

今後、坊津町久志地区を拠点に”情報発信ディレクター”として、先に着任している清原地区の橋口隊員と共に、空き家対策を主軸に活動していくこととなりますが、

坊津地域は環境面に於いても、大きな可能性と魅力に満ちたエリアです。『地域住民と子育て世代の移住者を繋げる架け橋』をコンセプトに、坊津町の暮らしと魅力、そして私たち家族のリアルな子育て生活を、地域の皆様と共に発信していきます!

よろしくお祈りします。



南さつま消防 救急24時

Vol.2

『救急車はどんな時に呼べばいいの?』

普段かけることのない電話番号「119番」。

今回は「救急車」をどんな場合に呼べばいいのか紹介します。

急な病気やケガで緊急性の高い症状がみられるときは、すぐに救急車を呼ぶ必要があります。一方で、救急車や救急隊員の数は限られていますので症状の軽い方が安易な救急要請をすることは望ましくありません。

救急車を適切に利用するために「緊急性の高い症状かどうか自分で判断できない」というときは消防庁がウェブ版とアプリ版で提供している「全国版救急受診アプリ【Q助(きゅーすけ)】」等をご活用ください。しかし、一刻を争うような症状(意識がない・呼吸をしているか分からない・大量の出血がある等)の場合は迷わず119番通報を行いましょう。

場合によっては、救急車が到着する前に応急手当が必要なこともあります。その時には、通信指令員が適切な応急手当の方法をお伝えしますので、指示に従って可能な限り実施してください。

皆さんの勇気が大切な人の命を守ります。



☆救急隊員より一言☆

本当に必要な人の元へ救急車が出動できるよう市民の皆様のご協力をお願いします。



南さつま市消防本部警防課救急係 ☎ 0993-53-5070

